

◆ 講習概要【選択必修領域講習】

【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日(火)～2019年5月8日(水)

注意) 「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

項番	講習の名称	取扱う事項	講習の概要・注意事項	担当講師	講習会場(開催地)	講習日程	主な受講対象者			受講料	募集定員
							学校種	免許職種、教科等	職務経験等		
1	【選択必修】信州教育に根ざした道徳教育:牛山榮世先生とジョン・デューイ	道徳教育	<p>本講習では、道徳教育について、講義等とおして、あらためて考えるきっかけとなる時間となることを目指します。</p> <p>その際、本学が位置する長野県で営まれてきた「信州教育」をひとつの手がかりとします。具体的には、2017年に信濃教育会から再販となった牛山榮世先生の『学びのゆくえ』、そして長野県師範学校附属小学校「研究学級」創設以来の思想的な源流であるジョン・デューイの教育哲学を取り上げます。</p> <p>事前の準備等は必要ありません。</p> <p>当日の持ち物は筆記具のみで結構です。</p> <p>やや大きめの教室を使用する予定ですので、冷暖房について細かな調整が効きにくいことがあります。羽織るもの、ひざ掛け等、必要に応じてご用意されるとなお安心かと思われます。</p>	高柳 充利 (教育学系准教授) 畔上 一康 (教育学系教授)	長野(教育)キャンパス 教育学部講義室 (長野市)	7月6日(土) 9:00-17:00 6時間	小学校	特定しない	特定しない	6,000円	50人
2	【選択必修】主体的・対話的で深い学びを「測る」—心理学の観点から新しい教育評価を考えるワークショップ—	育成を目指す資源及び能力を育むための主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	<p>新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」がキーワードとして盛り込まれました。従来のいわゆる詰め込み型の学力から、「自ら進んで学ぶ」「学習の仕方を知っている」「他者と協力できる」「ICTを活用できる」といった力を育てることが期待されています。</p> <p>このような期待に学校が応えるために、新しい力を「測る」方法に着目します。従来のペーパーテストでは、知識量や情報処理の素早さは測れますが、新しい力を測ることは困難です。近年の入試改革もこの流れで行われています。「測る」方法をおして、未来の学校について考えます。</p> <p>本講習では、心理学的教育評価理論を紹介しながら、受講者同士の話し合いを中心としたワークショップ形式(アクティブ・ラーニング形式)を主として進めます。同じ想いを持つ仲間と一緒に考えてみませんか。答えはありません。クリエイティブな発想で、新しい教育を考えましょう。</p>	島田 英昭 (教育学系准教授) 宮島 新 (教育学系准教授)	長野(教育)キャンパス 教育学部講義室 (長野市)	7月7日(日) 9:00-17:00 6時間	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	50人
3	【選択必修】進路指導・キャリア教育の理論と実践(A)	進路指導及びキャリア教育	<p>本講習では、キャリア教育の現状と歴史的背景など理論的なことを概説します。また、民間企業の人事担当者(変更の可能性あり)と明るい選挙推進協会の方(変更の可能性あり)をゲストティーチャーとしてお招きし、人事担当者の方からは主に企業が求める人材をキャリア教育の視点からお話していただきます。明るい選挙推進協会の方からはキャリア教育において育成すべき「自ら考え、判断する」力の育成に関して、主権者教育の視点からのアプローチ方法をお話していただきます。途中でグループワーク(意見交換)等を行い、講習での学びを共有します。</p>	田村 徳至 (総合人間科学系准教授)	松本キャンパス 医学部講義室 (松本市)	7月26日(金) 9:00-17:00 6時間	小学校 中学校 高等学校	特定しない	特定しない	6,000円	80人
4	【選択必修】道徳教育を考える	道徳教育	<p>本講習では、道徳教育を充実させるために何が求められるのかについて、以下のようなプロセスで確認・考察していきます。前半では、講師から学習指導要領のねらい等について解説を行い、それを踏まえた上で、「道徳的であるとはどういうことか」「価値観の押しつけを避けることはできるのか」などのテーマについて、グループワークを通して哲学的・実践的に検討します。後半では、前半で学んだり発見したりした内容を各受講者の実践と結びつけつつ、欧米を中心に世界的な広がりを見せる「子ども哲学」の取り組みを手がかりとしながら、望ましい道徳教育のあり方について考えます。</p>	河野 桃子 (総合人間科学系講師) 小山 茂喜 (総合人間科学系教授)	松本キャンパス 医学部講義室 (松本市)	8月2日(金) 9:00-17:00 6時間	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	50人

【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日(火)～2019年5月8日(水)

注意) 「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

項番	講習の名称	取扱う事項	講習の概要・注意事項	担当講師	講習会場(開催地)	講習日程	主な受講対象者			受講料	募集定員
							学校種	免許職種、 教科等	職務経験等		
5	【選択必修】教育の情報化(T1)	教育の情報化(情報通信技術を利用した指導及び情報教育(情報モラルを含む。))等	本講習では、子供たち一人一人の「生きる力」を育成するための「情報活用能力の育成のあり方」「ICT活用による授業革新のあり方」、さらに「校務の情報化」等について、具体的な実践事例による講義や演習を通して学びます。 扱う内容は、メディアリテラシー(著作権等も含む)、ICTを活用した授業実践例(電子黒板・タブレット・電子教科書等)、e-Learning等、具体的な実践事例の紹介や、実際に演習を行います。この講習を受けて、明日からの教育実践でICT活用にチャレンジしていただきたいと考えています。	小山 茂喜 (総合人間科学系教授) 新村 正明 (工学系准教授)	松本キャンパス 全学教育機構講義室 (松本市)	8月3日(土) 9:00-17:00 6時間	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	50人
6	【選択必修】学校と家庭を結ぶコンサルテーション	学校、家庭及び地域の連携及び協働	本講習では、学校と家庭・地域(保護者並びに学校の支援者)との連携の在り方、協働の在り方について、子どもや保護者への支援事例を紹介しながら、講義と演習をとおして学びます。私たちが活動する教育現場は、学校の中だけで解決できる課題もありますが、こうした地域の力を活用しなければ難しい問題も増加する傾向にあります。家庭、地域資源とのより良い関係を模索しながら、どのようにすればそれらと効果的な連携が取れるのか。コンサルテーションスキルの向上をキーワードにみなさんの実際に役立つ知識と技術について学習する機会を提供します。	茅野 理恵 (教育学系准教授) 上村 恵津子 (教育学系教授)	長野(教育)キャンパス 教育学部講義室 (長野市)	8月7日(水) 9:00-17:00 6時間	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	50人
7	【選択必修】教育の情報化 基礎	教育の情報化(情報通信技術を利用した指導及び情報教育(情報モラルを含む。))等	新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、情報通信技術(ICT)を活用した学びの実現が求められています。本講習は、これからデジタル教科書・教材や大型提示装置、タブレット端末などのICT活用を始める先生が、各教科や学級活動、情報モラルに関する指導現場で、どのようにICT機器を活用できるかを学びます。また、本学部のアクティブラーニングルームにおける1人1台タブレット端末を活用した演習を通じ、ICT機器を活用した授業・指導改善の方法について検討します。そして、新たに求められるICT活用指導の観点を紹介し、教育の情報化の今後の動向について解説します。なお、ICT活用授業をすでにやっている方は、「教育の情報化 応用」の受講をおすすめします。	森下 孟 (教育学系准教授) 東原 義訓 (教育学系教授) 谷塚 光典 (教育学系准教授)	長野(教育)キャンパス 教育学部講義室 (長野市)	8月7日(水) 9:00-17:00 6時間	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	40人
8	【選択必修】教育の情報化 応用	教育の情報化(情報通信技術を利用した指導及び情報教育(情報モラルを含む。))等	新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、情報通信技術(ICT)を活用した学びの実現が求められています。本講習は、デジタル教科書・教材や大型提示装置、タブレット端末などのICT活用授業をすでにやっている先生が、各教科や学級活動、情報モラルに関する指導現場で、どのように、効果的・効率的にICT機器を活用できるかを学びます。また、本学部のアクティブラーニングルームにおける1人1台タブレット端末を活用した演習を通じ、ICT機器を活用した授業・指導改善の方法について検討します。そして、新たに求められるICT活用指導の観点を紹介し、教育の情報化の今後の動向について解説します。なお、ICT活用授業をこれから始めようとしている方は、「教育の情報化 基礎」の受講をおすすめします。	森下 孟 (教育学系准教授) 東原 義訓 (教育学系教授) 谷塚 光典 (教育学系准教授)	長野(教育)キャンパス 教育学部講義室 (長野市)	8月10日(土) 9:00-17:00 6時間	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	40人

【講習実施月】 7、8、9月

【募集期間】 2019年4月16日(火)～2019年5月8日(水)

注意) 「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

項番	講習の名称	取扱う事項	講習の概要・注意事項	担当講師	講習会場(開催地)	講習日程	主な受講対象者			受講料	募集定員
							学校種	免許職種、教科等	職務経験等		
9	【選択必修】外国籍児童・生徒の支援と多文化共生	国際理解及び異文化理解教育	<p>○講習内容</p> <p>1. 多文化共生の実態 日本全体で外国の人、外国籍の児童生徒がどのような状況にあるか、どんな問題を抱えているかを考えます。</p> <p>2. 外国籍児童生徒の実態と対応策 外国籍の児童生徒について詳細に見ていきます。参考図書をもとにグループワークも実施します。</p> <p>3. 日本語教育/ 学校での国際交流の紹介 日本語教育を概観し、やさしい日本語にも触れます。また、これまで行われてきた外国籍児童支援の実態を紹介しします。</p> <p>○参考図書 購入が必須ではありませんが、一読してから参加した場合、理解が深くなります。</p> <p>1. 『クラスメイトは外国人 ー多文化共生20の物語』明石書店 2. 『多文化共生 8つの質問』学文社</p>	佐藤 友則 (総合人間科学系教授)	松本キャンパス 全学教育機構講義室 (松本市)	8月18日(日) 9:00-17:00 6時間	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	50人
10	【選択必修】日本語母語話者が知っておきたい英語の発音の特徴と英語圏の文化	英語教育	<p>日本語という母語が英語学習、とくに発音やリスニングにおいて、さまざまな影響や困難を与えることは知られていますが、日本語と英語の音を比較しながら、日本語母語話者が困難に感じることを中心に学習します。口腔図も書く練習をしながら、発音との関係も理解します。なお、わたしたちは言葉を通して世界を認識していると言われることが、さまざまな事例を示しながら、それらの意味について理解を深めます。その過程で英語圏の文化的特徴やコミュニケーション・スタイル、価値観等の違いを知ることにより、異文化理解と効果的なコミュニケーションへの洞察力を高めます。さらには、上記の内容の英語教育活動への応用法についても考察します。現場で使用できる発音や英語圏についての役立ち情報もたくさん盛り込みます。資料は当日、配付しますので、筆記用具を持参してください。</p>	近藤 富英 (関西外国語大学外国語学部教授) 小山 茂喜 (総合人間科学系教授)	松本キャンパス 全学教育機構講義室 (松本市)	8月31日(土) 9:00-17:00 6時間	小学校 中学校 高等学校	英語	特定しない	6,000円	60人
11	【選択必修】『不思議の国のアリス』で学ぶ英語教育	英語教育	<p>恐らく多くの英語を教える立場にある方が「なぜ翻訳が出ているのに英語の原文で読む必要があるの?」という疑問を投げかけられたことがあると思います。そのような疑問に対する答えの一つを学ぶ教材として『不思議の国のアリス』(Alice's Adventures in Wonderland)は最適です。もちろんディズニー版ではなく原作の方です。親しみやすい教材を使って英語教育の意義、さらにはただの児童文学として捉えられているこの作品にも深い意味があるといったことを学んでいくのが本講習です。</p> <p>英語教育に携わっておられる方も、そうでない方にも役に立つと信じております。子どもでも知っている『不思議の国のアリス』にも実は深い意味があるということを知ると、物事を見る視野が広がることでしょう(英文を読んだり英語について考えたりすることもあるので、英語が苦手な方は少し苦労なされるかも知れません)。</p>	金子 史彦 (教育学系准教授)	長野(教育)キャンパス 教育学部講義室 (長野市)	9月7日(土) 9:00-17:00 6時間	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	英語	特定しない	6,000円	50人
12	【選択必修】クラスを変える心理学—集団・組織から考える「困っている子ども」のサポート—(A)	教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む。)	<p>友だちがほしい、他人から認められたい、社会的な生き物である人間にとって当然の感情です。学校における問題は、個人「だけ」を見ても解決しません。「困っている子ども」を取りまく集団・組織の観点から考える必要があります。</p> <p>もちろんそんなことは分かっている、でも、具体的にどうしたらよいか分からない、こんな悩みはありませんか?本講習では、「クラス」を主な単位としながら、心理学に基づき、「困っている子ども」をサポートする方法について考えます。具体的には、集団・組織に関わる心理学的基礎理論の解説、子どもをとりまく集団・組織の観点からみた援助ニーズの把握方法、クラスを単位とした心の教育の方法等を提供します。</p> <p>3人の心理学者がそれぞれの得意分野を活かし、講義と演習を行います。理論的かつ実践的な、教育相談の技術を磨く手がかりをお持ち帰りいただきます。</p>	島田 英昭 (教育学系准教授) 高橋 史 (教育学系准教授) 茅野 理恵 (教育学系准教授)	長野(教育)キャンパス 教育学部講義室 (長野市)	9月29日(日) 9:00-17:00 6時間	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	100人

【講習実施月】 11月

【募集期間】 2019年8月27日(火)～2019年9月3日(火)

注意) 「主な受講対象者」はその講習の内容から想定される受講者を示すもので、受講を制限するものではありません。

項番	講習の名称	取扱う事項	講習の概要・注意事項	担当講師	講習会場(開催地)	講習日程	主な受講対象者			受講料	募集定員
							学校種	免許職種、教科等	職務経験等		
13	【選択必修】学校づくりと危機対応	様々な問題に対する組織的対応の必要性 学校における危機管理上の課題	本講習では、学校づくりや危機対応に関する様々な課題を対象とし、最新の研究成果に基づいた問題解決策をアクティブ・ラーニングを踏まえて考え話し合います。学校組織マネジメントとして、パスタワーを作りながらチームの在り方・協働を考えます。また教職の過去・現在・未来を分析し、同僚性を考えます。さらに学校で起こり得る切実な課題に向き合い、危機対応のリスクマネジメントとクライシスマネジメントを具体的に学び、実践的力量的の向上を目指します。なお、本講習では持ち物等、特に必要なものではありません。	青木 一 (教育学系准教授) 市川 公明 (教育学系准教授)	長野(教育)キャンパス 教育学部講義室 (長野市)	11月4日(月) 9:00-17:00 6時間	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	50人
14	【選択必修】異文化間コミュニケーション教育・国際理解教育	国際理解及び異文化理解教育	本講習では、国際理解教育の中でも異文化間(コミュニケーション)教育及び外国籍児童の教育に主軸において、楽しくかつ道徳、特別活動、学活などに役立つ内容を提示します。 (1)異文化コミュニケーション教育の趣旨は多様性を理解し尊重し合い、コミュニケーションの能力を高めることです。「異文化」には外国人との関係だけではなく、地域差、個人差、立場の違い等も含まれます。それを学ぶことは子どもたち、保護者との関係、教師間など学校でのあらゆる対人関係に活用可能です。講習ではシミュレーションを用いた体験学習をととして多様性対応を考えます。 (2)外国人児童生徒への教育は近年増加しつつある外国人児童を対象とした教育について考えます。現状と課題を学ぶとともに、異文化摩擦を扱った事例研究を行い、問題解決をどのように行うかについて検討します。また、外国人児童生徒を対象にして開発されたリライト教材についても学びます。	徳井 厚子 (教育学系教授) 小池 浩子 (教育学系准教授)	長野(教育)キャンパス 教育学部講義室 (長野市)	11月9日(土) 9:00-17:00 6時間	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	50人
15	【選択必修】教育の情報化(T2)	教育の情報化(情報通信技術を利用した指導及び情報教育(情報モラルを含む。)等)	本講習では、子供たち一人一人の「生きる力」を育成するための「情報活用能力の育成のあり方」「ICT活用による授業革新のあり方」、さらに「校務の情報化」等について、具体的な実践事例による講義や演習を通して学びます。 扱う内容は、メディアリテラシー(著作権等も含む)、ICTを活用した授業実践例(電子黒板・タブレット・電子教科書等)、e-Learning等、具体的な実践事例の紹介や、実際に演習を行います。この講習を受けて、明日からの教育実践でICT活用にチャレンジしていただきたいと考えています。	小山 茂喜 (総合人間科学系教授) 新村 正明 (工学系准教授)	松本キャンパス 全学教育機構講義室 (松本市)	11月17日(日) 9:00-17:00 6時間	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	50人
16	【選択必修】進路指導・キャリア教育の理論と実践(B)	進路指導及びキャリア教育	本講習では、キャリア教育の現状と歴史的背景など理論的なことを概説します。また、民間企業の人事担当者(変更の可能性あり)と明るい選挙推進協会の方(変更の可能性あり)をゲストティーチャーとしてお招きし、人事担当者の方からは主に企業が求める人材をキャリア教育の視点からお話ししていただきます。明るい選挙推進協会の方からはキャリア教育において育成すべき「自ら考え、判断する」力の育成に関して、主権者教育の視点からのアプローチ方法をお話ししていただきます。途中でグループワーク(意見交換)等を行い、講習での学びを共有します。	田村 徳至 (総合人間科学系准教授)	松本キャンパス 全学教育機構講義室 (松本市)	11月23日(土) 9:00-17:00 6時間	小学校 中学校 高等学校	特定しない	特定しない	6,000円	100人
17	【選択必修】クラスを変える心理学―集団・組織から考える「困っている子ども」のサポート―(B)	教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む。)	友だちがほしい、他人から認められたい、社会的な生き物である人間にとって当然の感情です。学校における問題は、個人「だけ」を見ても解決しません。「困っている子ども」を取りまく集団・組織の観点から考える必要があります。 もちろんそんなことは分かっている、でも、具体的にどうしたらよいか分からない、こんな悩みはありませんか?本講習では、「クラス」を主な単位としながら、心理学に基づき、「困っている子ども」をサポートする方法について考えます。具体的には、集団・組織に関わる心理学的基礎理論の解説、子どもをとりまく集団・組織の観点からみた援助ニーズの把握方法、クラスを単位とした心の教育の方法等を提供します。 3人の心理学者がそれぞれの得意分野を活かし、講義と演習を行います。理論的かつ実践的な、教育相談の技術を磨く手がかりをお持ち帰りいただきます。	島田 英昭 (教育学系准教授) 高橋 史 (教育学系准教授) 茅野 理恵 (教育学系准教授)	長野(教育)キャンパス 教育学部講義室 (長野市)	11月30日(土) 9:00-17:00 6時間	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	100人